

# 漢方処方名ローマ字表記法

Standard Kampo Formula Nomenclature

ver. 1.0

5 March 2005

分担研究者：津谷喜一郎

(東京大学大学院薬学系研究科医薬経済学講座客員教授,  
Uppsala Monitoring Centre (UMC) Signal Reviewer)

研究協力者：佐竹元吉 (日本生薬学会国際対応委員会委員長)

(50音順) 鳥居塚和生 (日本東洋医学会用語委員会委員長)

引網宏彰 (和漢医薬学会用語委員会委員長)

山田和男 (日本東洋医学会用語委員会副委員長)

Kiichiro TSUTANI, Motokichi SATAKE, Kazuo TORIIZUKA, Hiroaki HIKIAMI, Kazuo YAMADA

2005

# 漢方処方名ローマ字表記法

## Standard Kampo Formula Nomenclature

ver. 1.0 2005.3.5

分担研究者：津谷喜一郎（東京大学大学院薬学系研究科医薬経済学講座客員教授，  
Uppsala Monitoring Centre (UMC) Signal Reviewer)

研究協力者：佐竹元吉（日本生薬学会国際対応委員会委員長）  
（50音順） 鳥居塚和生（日本東洋医学会用語委員会委員長）  
引網宏彰（和漢医薬学会用語委員会委員長）  
山田和男（日本東洋医学会用語委員会副委員長）

### はじめに

「漢方処方名のローマ字表記法」プロジェクトは、2つの背景の下に開始された。

第1に、WHO International Drug Monitoring Centre である Uppsala Monitoring Centre (UMC, <http://www.who-umc.org/>) は、2002年から“herbal medicine” project として世界中の herbal medicine の ATC 分類 (Anatomical, Therapeutic and Chemical classification) プロジェクトを開始した。“HATC” プロジェクトとも称される。このプロジェクトの一環として、日本の漢方処方さらに生薬の ATC 分類を要請された。現在、約300万件の副作用情報が収載されている UMC の “Vigibase” database に、世界中で使われる日本の漢方薬などの副作用情報が収載される際にこの ATC コードが用いられることになる。この ATC コードを UMC に送るにあたって、漢方処方のローマ字表記を決定する必要がある。

第2に、現在、改正作業が行われている第十五改正日本薬局方（2006年発行予定）には、漢方処方が入り、そのローマ字表記が必要である。

上記2つの理由による漢方処方のローマ字表記は、漢方薬の使用や情報の国際化にあたり、調整し統一されることが望ましい。

本プロジェクトは、平成15、16年度厚生労働科学研究班「一般用漢方処方の見直しに資するための有用性評価 (EBM 確保) 手法及び安全性確保等に関する研究」(主任研究者：国立医薬品食品衛生研究所生薬部部長・合田幸広) の分担研究「一般用漢方処方の ATC 分類に関する研究」のサブトピックのひとつとして、「漢方処方名ローマ字表記」としてなされたものである。

ローマ字表記標準化にあたっての方法は、以下のごとくである。

- 1) ローマ字表記となる対象は、上記漢方処方の HATC 分類と同じく『一般用漢方処方の手引き』<sup>1)</sup> (1975) に現れる210処方と、2004年4月1日現在の上記210処方以外で市販されている医療用漢方製剤18処方の、合計の228処方とした。
- 2) 関係者への聞き取りと文献調査<sup>2) 3) 4) 5)</sup>
- 3) これまでこの領域の関わる活動を行ってきた日本東洋医学会と和漢医薬学会それぞれの活動の歴史の確認<sup>6) 7) 8) 9)</sup>

- 4) 分担研究者と研究協力者らとの12回にわたる討議 (2003.6.9, 8.25, 11.10, 2004.1.26, 3.8, 4.26, 6.21, 8.29, 10.25, 11.29, 2005.1.31, 2.15)

その結果、日本における漢方処方ローマ字表記法には、以下の5種があった。

- 1) 日本東洋医学会の使用するローマ字表記
- 2) 和漢医薬学会の使用するローマ字表記
- 3) 厚生労働省が現在 UMC に送付する際に使用するローマ字表記
- 4) (株) 医薬情報研究所の使用するローマ字表記
- 5) アイ・エム・エス・ジャパン (株) の使用するローマ字表記

それぞれを比較吟味し、より合理的なローマ字表記法について議論を重ね、以下のように標準化した。

## 1. ローマ字表記の原則

- (1) ヘボン式とする。
- (2) ヘボン式にない標記は、1954年内閣告示第一号「ローマ字のつづり方」<sup>10)</sup>におおむねしたがう。以下に本研究班としての考え方を示す。
  - 1) はねる音「ン」は n で表すが、m, b, p の前では m を用いる。
  - 2) はねる音を表す n と次に来る母音字または n や y とを切り離す必要がある場合には、n の次に ' を入れる。
  - 3) つまる音は、次に来る最初の子音字を重ねて表すが、次に ch が続く場合には c を重ねずに t を用いる。
  - 4) 長音は母音字のみ (母音字の上に ` を付けることや、母音字を並べることはしない)。
  - 5) 特殊音の表記は適宜対応する。

## 2. 細則と例示

- (1) 処方名の書き始めは原則、小文字とする。

古典や定本中の処方名、または一般名などのコンセプトとしての処方名は、小文字を用いる。一般名は西洋薬においても世界的に小文字が用いられている。なお、製剤名、商品名など具体的な物質としての処方名の書き始めは大文字を用いる。

- (2) 処方名に生薬名が含まれる場合があり、その間の整合性をとる。

現行の日本薬局方は、日本名、英名、ラテン名 (生薬関係品目のみ)、日本名別名、生薬の漢字名 (生薬関係品目のみ) などを含むが、ここで「英名」は誤りであろう。より広い概念として「ローマ字表記」とすべきものである。なぜなら、日本薬局方では一部の英語 (Acid, Injection, Tablet など) を除くと roman alphabet を用いた表記であり、この roman alphabet は英語以外の言語でも用いられているためである。ephedrine は、英名表記ではなく、ローマ字表記の世界的な一般名 (generic name) である。なお、日本名の読みのローマ字表記は含まれていない。一方、生薬品目については、英語を含むものが多く、たとえば、麻黄に対し

て Ephedra Herb が記載されている。だが麻黄という日本名のローマ字表記 mao は含まれていない。このため、今回の漢方処方ローマ字表記標準化の作業が2006年発行予定の第十五改正日本薬局方に収載されることをスコープに入れると、将来なされるかもしれない生薬名の日本名のローマ字表記（例えば麻黄，mao）とも関連するものである。

(3) ローマ字表記は処方名を和読みし、ヘボン式表記法とする。

1) 「し」は「shi」, 「ち」は「chi」, 「つ」は「tsu」, 「ふ」は「fu」, 「じ」, 「ぢ」ともに「ji」, 「ず」, 「づ」ともに「zu」で表記する。「を」は使用しないので考慮しないこととする。

(例) 四物湯：shimotsuto, 治頭瘡一方：jizusoippo, 治打撲一方：jidabokuippo

2) はねる音「ン」は「n」で表す。ただし、「m, b, p」の前では「m」を用いる。

(例) 葛根湯：kakkonto, 半夏白朮天麻湯：hangebyakujutsutemmato, 甘麦大棗湯：kambakutaisoto, 抑肝散加陳皮半夏：yokukansankachimpihange

3) はねる音を表す「n」と、次にくる母音字または「n」や「y」とを切り離す必要がある場合には、「n」の次に「'」を入れる。

(例) 葛根湯加川芎辛夷：kakkontokasenyushin'i, 延年半夏湯：en'nenhangeto, 人參養榮湯：ninjin'yoeito

4) つまる音は、次にくる最初の子音字を重ねて表す。ただし、次に「ch」がくる場合は「c」を重ねずに「t」を用いる。

(例) 葛根湯：kakkonto

5) 長音は母音字のみとする。母音字の上に<sup>ˆ</sup>を付けることや、母音字を並べることはしない。「ou」などは次のように表記する：

(例) ○○湯：○○to (○○tou ではない)

黄耆建中湯：ogikenchuto, 小柴胡湯：shosaikoto, 竜胆瀉肝湯：ryutanshakanto,  
黄耆：ogi (ougi ではない), 地黄：jio (jiou ではない), 生姜：shokyo (shoukyou ではない), 川芎：senkyu (senkyuu ではない), 竜胆：ryutan (ryuutan ではない)

(4) 処方名の表記はハイフンで区切らない。

種々の議論の結果、ハイフンにより区切らないことを原則とした。理由は以下の3点。

- i) 非漢字文化圏での国際的な流用性に重きを置く。
- ii) ローマ字しか読めない人にとって読みやすくする。
- iii) 日本人がローマ字で記述するときに迷わなくてもよいようにする。

なお、議論の中では、以下のハイフン付けが検討された。

i) 剤形を表す漢字の前：

「湯，散，丸，飲，膏」などの剤形を示す言葉の前にハイフンを付すことが検討されたが、「飲子」の前にはハイフンを入れないなどの例外が多く、かえって分かりづらいとの意見が多かった。

ii) 加味方：

「加」によってあらわされるものは、葛根湯加川芎辛夷のように生薬が加味されたものと、桂枝茯苓丸料加薏苡仁のように処方名として独立したものがある。前者

にはハイフンをつけることも考えられるが、これらをひとつずつ正確に分別することは多大な労力を要する。

iii) 合方：

「合」によってつながられる、加味逍遥散合四物湯や茯苓飲合半夏厚朴湯なども加味方の場合と同じくその分別は一定の法則を設定するのが困難である。

以上、ローマ字の読み手にとっても書き手にとっても、ハイフンはむしろない方が、大勢としては使いやすいという結論となった。

以下に、記載例を示す。

(例) 黄耆建中湯：ogikenchuto (ogi-kenchu-to ではない)

加味逍遥散：kamishoyosan (kami-shoyo-san ではない)

小柴胡湯：shosaikoto (sho-saiko-to ではない)

猪苓湯合四物湯：choreitogoshimotsuto (choreito-go-shimotsuto ではない)

- (5) 読みは『一般用漢方処方の手引き』(1975)の210処方の表記を原則とする。ただし、議論の結果、以下の処方では次の読みが妥当であると考えられ、以下を採用することとした。また、これらの処方については、付記した Table の No. に\*を付した。

(例) 温経湯：ウンケイトウ unkeito (onkeito ではない)

黄連阿膠湯：オウレンアキョウトウ oren'akyoto (oren'agyoto ではない)

十全大補湯：ジュウゼンタイホトウ juzentaihoto (juzendaihoto ではない)

参苓白朮散：ジンリョウビャクジュツサン jinryobyakujutsusan (jinreibyakujutsusan ではない)

疎経活血湯：ソケイカクケツトウ sokeikakketsuto (sokeikakketto ではない)

抑肝散：ヨクカンサン yokukansan (yokkannsann ではない)

- (6) 複数の処方名ないし類似処方

複数の処方名ないし類似処方が存在するものは、以下とした。また、これらの処方については、付記した Table の No. に\*を付した。

(例) 桂芍知母湯は、OTC 製剤に「桂枝芍薬知母湯」が存在するので後者を括弧内に表記する。

柴朴湯は、医療用製剤名としてこれのみ存在するのでこれを採用する。小柴胡合半夏厚朴湯ではない。

附子理中湯は、医療用製剤として存在するが、一般名として「附子人参湯」が使用されるので括弧内に表記する。

八味地黄丸は、医療用製剤と OTC 製剤として「八味丸」も使用されるので括弧内に表記する。

実脾飲は、「分消湯」と構成生薬が異なるので独立して扱う。

- (7) 漢字の表記

議論の中で処方の表記に用いる漢字が文献によって異なることが指摘され、漢字、カタカナ、ローマ字の対応リストを作る際にも、漢字を吟味すべきとされた。種々の議論から、付記する漢字の採択に当たって以下の2点を原則とすることとなった。

- 1) 常用漢字 (1981) を原則とする。漢字学でいう、正字 (いわゆる旧字体)、異字、略字、誤字のうち、日本の漢字は略字が多い。すなわち、今回のリスト作成においては、漢字学でいう正字にはこだわらない。
- 2) 日本で広く使われる漢字を用いる。コンピュータによる入力を容易にするためである。そのため、第十四改正日本薬局方 (2001年発行) や日本薬局方外生薬規格1989増補版などとは異なる漢字 (「葛」, 「芍」, 「蓮」など) もある。

なお、本研究はローマ字表記標準化が目的であり、漢字表記やカタカナ表記を統一する目的ではない。

以下に、記載例を示す。また、これらの処方については、付記した Table の No. に\*を付した。

(例)

「巳」の字体を用いる。(「巳」ではない。)

(190) 防巳黄耆湯, (191) 防巳茯苓湯, (227) 木防巳湯

「葛」の字体を用いる。(「葛」ではない。)

(19) 葛根黄連黄芩湯, (20) 葛根紅花湯, (21) 葛根湯,  
(22) 葛根湯加川芎辛夷, (46) 桂枝加葛根湯, (119) 升麻葛根湯,  
(164) 独活葛根湯, (212) 葛根加朮附湯

「芩」の字体を用いる。(「岑」ではない。)

(11) 黄芩湯, (19) 葛根黄連黄芩湯, (88) 三物黄芩湯

「芍」の字体を用いる。(「芍」ではない。)

(48) 桂枝加芍薬生姜人參湯, (49) 桂枝加芍薬大黃湯, (50) 桂枝加芍薬湯,  
(82) 柴芍六君子湯, (101) 芍薬甘草湯, (161) 当帰芍薬散,  
(215) 桂芍知母湯 (桂枝芍薬知母湯), (217) 芍薬甘草附子湯,  
(223) 当帰芍薬散加附子

「茹」の字体を用いる。(「筍」ではない。)

(145) 竹茹温胆湯

「榔」の字体を用いる。(「榔」ではない。)

(214) 九味檳榔湯

「遙」の字体を用いる。(「遥」ではない。)

(26) 加味逍遙散, (27) 加味逍遙散合四物湯, (120) 逍遙散, (175) 八味逍遙散

「蛎」の字体を用いる。(「蠣」ではない。)

(52) 桂枝加竜骨牡蛎湯, (78) 柴胡加竜骨牡蛎湯

「蓮」の字体を用いる。(「蓮」ではない。)

(132) 清心蓮子飲

「𦵏」の部首を用いる。(「𦵏」ではない。)

(4) 茵蔯蒿湯, (22) 葛根湯加川芎辛夷, (57) 桂枝茯苓丸料加薏苡仁, など  
(なお、この項に該当する処方が多数であるので\*を付していない。)

## 参考文献

- 1) 厚生省薬務局（監修）、一般用漢方処方の手引き、薬業時報社、1975
- 2) Park J, Park HJ, Lee HJ, Ernst E. What's in a name? A systematic review of the nomenclature of Chinese medical formulae. *The American Journal of Chinese Medicine* 2002 ; 30 ( 2 , 3 ): 419-27.
- 3) 日本医薬情報センター編、医療薬 日本医薬品集、じほう、2004
- 4) 日本医薬情報センター編、一般薬 日本医薬品集、じほう、2004
- 5) 日本漢方生薬製剤協会編、医療用漢方製剤要覧、日本漢方生薬製剤協会、1995
- 6) 東洋医学用語集（1999年度版）、（社）日本東洋医学会、1999年4月。〔漢方処方228処方のリストは、i) 漢字名、ii) ひらがな、iii) ローマ字、iv) 中国語のピンインの4要素からなる（p.13-9）。なお、164種の生薬リストは、i) 漢字名、ii) ひらがな、iii) ローマ字、iv) ラテン名、v) 英名の5要素からなる（p.20-4）。〕
- 7) 鳥居塚和生、用語や表記法に関する日本東洋医学会の活動の経緯（2003年10月28日）
- 8) 和漢医薬学会がこれまで使用してきたローマ字表記リスト（i) 漢字名、ii) ひらがな、iii) ローマ字、iv) 中国語のピンイン、124処方）（1984年12月20日）
- 9) 引網宏彰、和漢医薬学会「方剤名記載のための申し合わせ事項」の作成の経緯とリストに収載された方剤が選択された根拠について（2003年10月29日）
- 10) ローマ字のつづり方、1954（昭和29）年12月9日付内閣告示第一号による。新村出（編）広辞苑第5版、岩波書店、1998、p.2962-3

## 謝辞

本プロジェクトにご協力いただいた、東京大学大学院薬学系研究科医薬経済学博士課程学生・詫間浩樹、同・菊田健太郎、同薬学部学生・リヨン・フォンマン・アグネス（梁鳳雯）の諸君に謝意を表す。

Table 漢方処方 of the Roman alphabet (210+18 処方, 2005)

ver.1.0 5 March 2005

No.	漢字 (Han character)	カタカナ (katakana)	ローマ字 (Roman alphabet)
1	安中散	アンチュウサン	anchusan
2	胃風湯	イフウトウ	ifuto
3	胃苓湯	イレイトウ	ireito
4	茵陳蒿湯	インチンコウトウ	inchinkoto
5	茵陳五苓散	インチンゴレイサン	inchingoreisan
6*	温経湯	ウンケイトウ	unkeito
7	温清飲	ウンセイイン	unseiin
8	温胆湯	ウインタントウ	untanto
9	延年半夏湯	エンネンハンゲトウ	en'nenhangeto
10	黄耆建中湯	オウギケンチュウトウ	ogikenchuto
11*	黄芩湯	オウゴントウ	ogonto
12	応鐘散	オウショウサン	oshosan
13*	黄連阿膠湯	オウレンアキョウトウ	oren'akyoto
14	黄連解毒湯	オウレンジドクトウ	orengedokuto
15	黄連湯	オウレントウ	orento
16	乙字湯	オツジトウ	otsujito
17	化食養脾湯	カシヨクヨウヒトウ	kashokuyohito
18	藿香正気散	カッコウショウキサン	kakkoshokisan
19*	葛根黄連黄芩湯	カクコンオウレンオウゴントウ	kakkon'oren'ogonto
20*	葛根紅花湯	カクコンコウカトウ	kakkonkokato
21*	葛根湯	カクコントウ	kakkonto
22*	葛根湯加川芎辛夷	カクコントウカセンキュウシンイ	kakkontokasenyushin'i
23	加味温胆湯	カミウインタントウ	kamiuntanto
24	加味帰脾湯	カミキヒトウ	kamikihito
25	加味解毒湯	カミゲドクトウ	kamigedokuto
26*	加味逍遙散	カミショウヨウサン	kamishoyosan
27*	加味逍遙散合四物湯	カミショウヨウサンゴウシモツトウ	kamishoyosangoshimotsuto
28	加味平胃散	カミヘイイサン	kamiheiisan
29	乾姜人参半夏丸	カンキョウニンジンハンゲガン	kankyoinjinhangegan
30	甘草瀉心湯	カンゾウシャシントウ	kanzoshashinto
31	甘草湯	カンゾウトウ	kanzoto
32	甘麦大棗湯	カンバクタイソウトウ	kambakutaisoto
33	帰耆建中湯	キギケンチュウトウ	kigikenchuto
34	桔梗湯	キキョウトウ	kikyoto
35	帰脾湯	キヒトウ	kihito
36	芎歸膠艾湯	キュウキキョウガイトウ	kyukikyogaito
37	芎歸調血飲	キュウキチヨウケツイン	kyukichoketsuin
38	芎歸調血飲第一加減	キュウキチヨウケツインダイイチカゲン	kyukichoketsuindaiichikagen
39	響声破笛丸	キョウセイハテキガン	kyoseihatekigan
40	杏蘇散	キョウソサン	kyososan



No.	漢字 (Han character)	カタカナ (katakana)	ローマ字 (Roman alphabet)
41	苦参湯	クジントウ	kujinto
42	驅風解毒散	クフウゲドクサン	kufugedokusan
43	荊芥連翹湯	ケイガイレンギョウトウ	keigairengyoto
44	鷄肝丸	ケイカンガン	keikangan
45	桂枝加黄耆湯	ケイシカオウギトウ	keishikaogito
46*	桂枝加葛根湯	ケイシカカッコントウ	keishikakakonto
47	桂枝加厚朴杏仁湯	ケイシカコウボクキョウニントウ	keishikakobokukyoninto
48*	桂枝加芍薬生姜人参湯	ケイシカシャクヤクショウキョウニンジン トウ	keishikashakuyakushokyoninjinto
49*	桂枝加芍薬大黄湯	ケイシカシャクヤクダイオウトウ	keishikashakuyakudaioto
50*	桂枝加芍薬湯	ケイシカシャクヤクトウ	keishikashakuyakuto
51	桂枝加朮附湯	ケイシカジュツブトウ	keishikajutsubuto
52*	桂枝加竜骨牡蛎湯	ケイシカリユウコツボレイトウ	keishikaryukotsuboreito
53	桂枝加苓朮附湯	ケイシカリョウジュツブトウ	keishikaryojutsubuto
54	桂枝湯	ケイシトウ	keishito
55	桂枝人参湯	ケイシニンジントウ	keishininjinto
56	桂枝茯苓丸	ケイシブクリョウガン	keishibukuryogan
57	桂枝茯苓丸料加薏苡仁	ケイシブクリョウガンリョウカヨクイニン	keishibukuryoganryokayokuinin
58	啓脾湯	ケイヒトウ	keihito
59	荆防敗毒散	ケイボウハイドクサン	keibohaidokusan
60	桂麻各半湯	ケイマカクハントウ	keimakakuhanto
61	鷄鳴散加茯苓	ケイメイサンカブクリョウ	keimeisankabukuryo
62	堅中湯	ケンチュウトウ	kenchuto
63	甲字湯	コウジトウ	kojito
64	香砂平胃散	コウシャヘイイサン	koshaheisan
65	香砂養胃湯	コウシャヨウイトウ	koshayoito
66	香砂六君子湯	コウシャリックンシトウ	kosharikkunshito
67	香蘇散	コウソサン	kososan
68	厚朴生姜半夏人参甘草湯	コウボクショウキョウハンゲニンジンカン ゾウトウ	kobokushokyohangeninjinkanzoto
69	五虎湯	ゴコトウ	gokoto
70	牛膝散	ゴシツサン	goshitsusan
71	五積散	ゴシヤクサン	goshakusan
72	牛車腎気丸	ゴシャジンキガン	goshajinkigan
73	呉茱萸湯	ゴシュユトウ	goshuyuto
74	五物解毒散	ゴモツゲドクサン	gomotsugedokusan
75	五淋散	ゴリンサン	gorinsan
76	五苓散	ゴレイサン	goreisan
77	柴陷湯	サイカントウ	saikanto
78*	柴胡加竜骨牡蛎湯	サイコカリユウコツボレイトウ	saikokaryukotsuboreito
79	柴胡桂枝乾姜湯	サイコケイシカンキョウトウ	saikokeishikankyoto
80	柴胡桂枝湯	サイコケイシトウ	saikokeishito

No.	漢字 (Han character)	カタカナ (katakana)	ローマ字 (Roman alphabet)
81	柴胡清肝湯	サイコセイカントウ	saikoseikanto
82*	柴芍六君子湯	サイシャクリクンシトウ	saishakurikkunshito
83*	柴朴湯	サイボクトウ	saibokuto
84	柴苓湯	サイレイトウ	saireito
85	左突膏	サトツコウ	satotsuko
86	三黄瀉心湯	サンオウシャシントウ	san'oshashinto
87	酸棗仁湯	サンソウニントウ	sansoninto
88*	三物黄芩湯	サンモツオウゴントウ	sammotsuogonto
89	滋陰降火湯	ジインコウカトウ	jiinkokato
90	滋陰至宝湯	ジインシホウトウ	jiinshihoto
91	紫雲膏	シウンコウ	shiunko
92	四逆散	シギヤクサン	shigyakusan
93	四君子湯	シクンシトウ	shikunshito
94	滋血潤腸湯	ジケツジュンチョウトウ	jiketsujunchoto
95	七物降下湯	シチモツコウカトウ	shichimotsukokato
96*	実脾飲	ジッピイン	jippiin
97	柿蒂湯	シテイトウ	shiteito
98	四物湯	シモツトウ	shimotsuto
99	四苓湯	シレイトウ	shireito
100	炙甘草湯	シャカンゾウトウ	shakanzoto
101*	芍薬甘草湯	シャクヤクカンゾウトウ	shakuyakukanzoto
102	鸕鹑菜湯 (三味鸕鹑菜湯)	シャコサイトウ (サンミシャコサイトウ)	shakosaito or sammishakosaito
103	蛇床子湯	ジャショウシトウ	jashoshito
104*	十全大補湯	ジュウゼンタイホトウ	juzentaihoto
105	十味敗毒湯	ジュウミハイドクトウ	jumihaidokuto
106	潤腸湯	ジュンチョウトウ	junchoto
107	蒸眼一方	ジョウガンイッポウ	jogan'ippo
108	生姜瀉心湯	ショウキョウシャシントウ	shokyoshashinto
109	小建中湯	ショウケンチュウトウ	shokenchuto
110	小柴胡湯	ショウサイコトウ	shosaikoto
111	小柴胡湯加桔梗石膏	ショウサイコトウカキキョウセッコウ	shosaikotokakikyosekko
112	小承気湯	ショウジョウキトウ	shojokito
113	小青竜湯	ショウセイリユウトウ	shoseiryuto
114	小青竜湯加石膏	ショウセイリユウトウカセッコウ	shoseiryutokasekko
115	小青竜湯合麻杏甘石湯	ショウセイリユウトウゴウマキョウカンセキトウ	shoseiryutogomakyokansekito
116	椒梅湯	ショウバイトウ	shobaito
117	小半夏加茯苓湯	ショウハンゲカブクリョウトウ	shohangekabukuryoto
118	消風散	ショウフウサン	shofusan
119*	升麻葛根湯	ショウマカクコントウ	shomakakkonto
120*	逍遙散	ショウヨウサン	shoyosan

No	漢字 (Han character)	カタカナ (katakana)	ローマ字 (Roman alphabet)
121	辛夷清肺湯	シンイセイハイトウ	shin'iseihaito
122	秦艽羌活湯	ジンギョウキョウカツトウ	jingyokyokatsuto
123	秦艽防風湯	ジンギョウボウフウトウ	jingyobofuto
124	參蘇飲	ジンソイン	jinsoin
125	神秘湯	シンピトウ	shimpito
126*	參苓白朮散	ジンリョウビヤクジュツサン	jinryobyakujutsusan
127	清肌安蛔湯	セイキアンカイトウ	seikiankaito
128	清湿化痰湯	セイシツケタントウ	seishitsuketanto
129	清上躑痛湯	セイジョウケンツウトウ	seijokentsuto
130	清上防風湯	セイジョウボウフウトウ	seijobofuto
131	清暑益氣湯	セイショエツキトウ	seishoekkito
132*	清心蓮子飲	セイシンレンシイン	seishinrenshiin
133	清肺湯	セイハイトウ	seihaito
134	折衝飲	セッショウイン	sesshoin
135	川芎茶調散	センキュウチャチョウサン	senkyuchachosan
136	千金鷄鳴散	センキンケイメイサン	senkinkeimeisan
137	錢氏白朮散	ゼンシビヤクジュツサン	zenshibyakujutsusan
138*	疎経活血湯	ソケイカクツトウ	sokeikakketsuto
139	蘇子降氣湯	ソシコウキトウ	soshikokito
140	大黃甘草湯	ダイオウカンゾウトウ	daiokanzoto
141	大黃牡丹皮湯	ダイオウボタンピトウ	daiobotampito
142	大建中湯	ダイケンチュウトウ	daikenchuto
143	大柴胡湯	ダイサイコトウ	daisaikoto
144	大半夏湯	ダイハンゲトウ	daihangeto
145*	竹茹温胆湯	チクジョウタントウ	chikujountanto
146	治打撲一方	ヂダボクイッポウ	jidabokuippo
147	治頭瘡一方	ヂゾノウイッポウ	jizusoippo
148	中黃膏	チュウオウコウ	chuoko
149	調胃承氣湯	チョウエイジョウキトウ	choijokito
150	丁香柿蒂湯	チョウコウシテイトウ	chokoshiteito
151	釣藤散	チョウトウサン	chotosan
152	猪苓湯	チョレイトウ	choreito
153	猪苓湯合四物湯	チョレイトウゴウシモツトウ	choreitogoshimotsuto
154	通導散	ツウドウサン	tsudosan
155	桃核承氣湯	トウカクジョウキトウ	tokakujokito
156	当帰飲子	トウキインシ	tokiinshi
157	当帰建中湯	トウキケンチュウトウ	tokikenchuto
158	当帰散	トウキサン	tokisan
159	当帰四逆加呉茱萸生姜湯	トウキシギャクカゴシュユショウキョウトウ	tokishigyakukagoshuyushokyoto
160	当帰四逆湯	トウキシギャクトウ	tokishigyakuto

No.	漢字 (Han character)	カタカナ (katakana)	ローマ字 (Roman alphabet)
161*	当帰芍薬散	トウキシヤクヤクサン	tokishakuyakusan
162	当帰湯	トウキトウ	tokito
163	当帰貝母苦参丸料	トウキバイモクジンガンリョウ	tokibaimokujinganryo
164*	独活葛根湯	ドクカツカクコントウ	dokkatsukakkonto
165	独活湯	ドクカツトウ	dokkatsuto
166	二朮湯	ニジュツトウ	nijutsuto
167	二陳湯	ニチントウ	nichinto
168	女神散	ニョシンサン	nyoshinsan
169	人参湯	ニンジントウ	ninjinto
170	人参養榮湯	ニンジンヨウエイトウ	ninjin'yoeito
171	排膿散	ハイノウサン	hainosan
172	排膿湯	ハイノウトウ	hainoto
173	麦門冬湯	バクモンドウトウ	bakumondoto
174*	八味地黄丸 (八味丸)	ハチミジオウガン (ハチミガン)	hachimijiogan or hachimigan
175*	八味逍遙散	ハチミシヨウヨウサン	hachimishoyosan
176	半夏厚朴湯	ハンゲコウボクトウ	hangekobokuto
177	半夏瀉心湯	ハンゲシャシントウ	hangeshashinto
178	半夏白朮天麻湯	ハンゲビヤクジュツテンマトウ	hangebyakujutsutemmato
179	白虎加桂枝湯	ビヤッコカケイシトウ	byakkokakeishito
180	白虎加人参湯	ビヤッコカニンジントウ	byakkokaninjinto
181	白虎湯	ビヤッコトウ	byakkoto
182	不換金正気散	フカンキンシヨウキサン	fukankinshokisan
183	伏竜肝湯	ブクリユウカントウ	bukuryukanto
184	茯苓飲	ブクリョウイン	bukuryoin
185	茯苓飲加半夏	ブクリョウインカハンゲ	bukuryoinkahange
186	茯苓飲合半夏厚朴湯	ブクリョウインゴウハンゲコウボクトウ	bukuryoingohangekobokuto
187	茯苓瀉瀉湯	ブクリョウタクシャトウ	bukuryotakushato
188	分消湯	ブンショウトウ	bunshoto
189	平胃散	ヘイイサン	heiisan
190*	防己黄耆湯	ボウイオウギトウ	boiogito
191*	防己茯苓湯	ボウイブクリョウトウ	boibukuryoto
192	防風通聖散	ボウフウツウシヨウサン	bofutsushosan
193	補気建中湯	ホキケンチュウトウ	hokikenchuto
194	補中益気湯	ホチュウエッキトウ	hochuekkito
195	補肺湯	ホハイトウ	hohaito
196	麻黄湯	マオウトウ	maoto
197	麻杏甘石湯	マキョウカンセキトウ	makyokansekito
198	麻杏薏甘湯	マキョウヨクカントウ	makyoyokukanto
199	麻子仁丸	マシニンガン	mashiningan
200	楊柏散	ヨウハクサン	yohakusan

No.	漢字 (Han character)	カタカナ (katakana)	ローマ字 (Roman alphabet)
201	薏苡仁湯	ヨクイニントウ	yokuininto
202*	抑肝散	ヨクカンサン	yokukansan
203	抑肝散加陳皮半夏	ヨクカンサンカチンピハンゲ	yokukansankachimpihange
204	立効散	リッコウサン	rikkosan
205	六君子湯	リククンシトウ	rikkunshito
206	竜胆瀉肝湯	リュウタンシャカントウ	ryutanshakanto
207	苓姜朮甘湯	リョウキョウジュツカントウ	ryokyojutsukanto
208	苓桂甘藜湯	リョウケイカンソウトウ	ryokeikansoto
209	苓桂朮甘湯	リョウケイジュツカントウ	ryokeijutsukanto
210	六味丸	ロクミガン	rokumigan

Annex 漢方210処方以外の医療用漢方製剤 (18処方, 2005)

No.	漢字 (Han character)	カタカナ (katakana)	ローマ字 (Roman alphabet)
211	越婢加朮湯	エッピカジュツトウ	eppikajutsuto
212*	葛根加朮附湯	カクコンカジュツブトウ	kakkonkajutsubuto
213	桔梗石膏	キキョウセッコウ	kikyosekko
214*	九味檳榔湯	クミビンロウトウ	kumibinroto
215*	桂芍知母湯 (桂枝芍薬知母湯)	ケイシャクチモトウ (ケイシシャクヤクチモトウ)	keishakuchimoto or keishishakuyakuchimoto
216	梔子柏皮湯	シシハクヒトウ	shishihakuhito
217*	芍薬甘草附子湯	シャクヤクカンゾウブシトウ	shakuyakukanzobushito
218	真武湯	シンブトウ	shimbuto
219	大柴胡湯去大黃	ダイサイコトウキョダイオウ	daisaikotokyodaio
220	大承氣湯	ダイジョウキトウ	daijokito
221	大防風湯	ダイボウフウトウ	daibofuto
222	腸癰湯	チョウヨウトウ	choyoto
223*	当帰芍薬散加附子	トウキシャクヤクサンカブシ	tokishakuyakusankabushi
224	排膿散及湯	ハイノウサンキュウトウ	hainosankyuto
225*	附子理中湯 (附子人參湯)	ブシリチュウトウ (ブシニンジントウ)	bushirichuto or bushininjinto
226	麻黄附子細辛湯	マオウブシサイシントウ	maobushisaishinto
227*	木防已湯	モクボウイトウ	mokuboitto
228	苓甘姜味辛夏仁湯	リョウカンキョウミシンゲニントウ	ryokankyomishingeninto